

☆=☆ 「いいとこみつけ」で温かく!! ☆=☆

立山の初冠雪が観測され、肌寒く感じる中、太陽の日差しの暖かさがうれしく思える今日この頃。「チーム城山1学年」では、初めての合唱コンクールを終えることができました。多くの生徒が自分自身やクラスのために一生懸命に取り組むことができたと振り返り、終学活でのクラス写真からも、生徒の達成感が伝わりました。また、合唱コンクールでの仲間の「いいとこみつけ」や展示作品の鑑賞では、仲間のよさや頑張りを認める言葉がたくさん書かれていました。1年生の「美しい心」がたくさんあることをうれしく思い、日差しの暖かさと同じで温かい思いになりました。そう言えば、ある新聞に「医者は患者さんの悪いところを見付けて治すのが仕事ですが、学校の先生は子供たちのいいところを見付けて伸ばすのが仕事です。」と、ある医師のコラムが載っていたのを思い出しました。私たちも日頃から、『いいとこみつけ』ができるように意識をして生徒と接していくかねばならないと、改めて思いました。



初めての行事が一つ一つ終わる度に、生徒の成長を感じています。「チーム城山1学年」で活動できるのもあと5か月。さらに一人一人が誇れる自分を見付け、美しい心を育てるように、みんなでよさを伝え合いながら、温かい「チーム城山1学年」を目指していきたいと思います。

今後とも、ご家庭のご協力をよろしくお願ひいたします。 第1学年主任 須波 昌美

♡ ♡ ♡ 「チーム城山1学年」いいとこみつけ!! ♡ ♡ ♡

担任の先生に聞きました!!漢字一文字で表すなら・・・

【温】

(1組担任 新タ 萌美)

- ・係の仕事をサポートする人や間違ったことを注意し合い、周りを見て仲間のために動くことができる人が多い。
- ・何気ないことで笑い合い、温かい空気感がある。

《今後の行事予定》

- 11／ 1 (月) 教育相談週間 ～9 (火) まで
 4 (木) 中教研学力調査 (英、理、国)
 5 (金) 中教研学力調査 (社、数)
 壮行会
 6 (土) P T A 資源回収
 7 (日) 富山市新人大会 (バレーボール競技)
 13 (土)、14 (日) 富山市新人大会
 16 (火) 研修会のため午後放課 (給食有り)
 17 (水) テスト期間、部停止 ～25 (木) まで
 メディアコントロールウィーク
 24 (水) 期末考査 (社、英、保体)
 25 (木) 期末考査 (美、国、音)
 26 (金) 期末考査 (技家、数、理)
 先輩に学ぶ講演会
 29 (月) 歯の健康講話
 12／17 (金) ～21 (火) 保護者懇談会
 24 (金) 2学期終業式

【動】

(2組担任 岡田 一鷹)

- ・仕事や手伝いを頼むと、すぐに動いてくれる。むしろ、頼まれなくても動いてくれる。
- ・班員全員で協力し、班の役割を果たしている。
- ・部活動に一生懸命取り組んでいる人が多い。

【気】

(3組担任 横嶋 信一)

- ・いろいろなことに気付き、声を掛け合える。
- ・よく気が利き、率先して仕事をしてくれる人が多い。
- ・何よりも元気!!



●○○合唱コンクールを終えて○○●



優秀賞 3組 「明日という日が」



僕は、パートリーダーとしてみんなを上手にまとめられただろうかと思いました。最初の体育館練習では、男子の声が全然出でていなく、女子に申し訳なかったです。その後、誰の声が出ていないのかを確かめて、何度かパート練習をしました。その結果、優秀賞がとれてよかったです。ぜひ、来年も再来年も優秀賞をとりたいです。2年生と3年生の合唱は、とてもすごかったです。全員、本気で合唱に取り組んでいて、すごいと思いました。来年、また、みんなをまとめて一つにできるパートリーダーになりたいです。(3組 M.G)

今回の合唱コンクールでは、練習の時にはみんなバラバラでとても心配だったけれど、本番では、心を一つに頑張れたと思います。私は、伴奏をしているときにみんなの声がしっかりと聞こえてきたのが、すごくうれしかったです。そして、練習をたくさんして努力したお陰で、本番では大きな声で歌うことができ、優秀賞をとることができたのだと思います。みんなのことを引っ張ってくれたパートリーダーや指揮者のよいところも見つけることができました。(3組 O.M)



中学生になって初めての合唱コンクール。私は、ソプラノの練習で、最初の言葉をはっきり言ったり、伸ばす部分を大きな声で最後までしっかりと伸ばしたりすることに気を付けて歌いました。最初はバラバラで不安でしたが、みんなで練習をして、とてもよい思い出に残る合唱コンクールになりました。とても楽しかったです。来年は歌詞を早く覚えて、苦手なところをできるようにして、最高の合唱コンクールにしたいです。

(2組 S.A)

最初に歌ったときは、音程や音の長さがバラバラで、合唱コンクールまでよい合唱にできるか不安でした。パート練習や合唱練習をしていると、歌い始めがうまくそろっていないなどの問題点も分かるようになってきたので、そこを練習し直していくと、段々とみんなの声が合わさり、他のパートにもつられず歌えるようになってきました。本番はたくさん的人が見ているので緊張しましたが、今までうまく歌えていなかったところも、しっかりと歌うことができ、よい合唱になったと思います。

(2組 T.Y)



僕は、バリトンのパートリーダーでした。最初は、まとまりがなく声も小さかったです。しかし、練習していくうちに、パートのメンバーで仲間の苦手なところをカバーし合い、徐々に、しっかりと声が出るようになってきました。当日の練習でも、声が出ていたので大丈夫と思いました。本番もよかったです。惜しくも負けてしまいましたが、僕は、気付きました。みんなが力を合わせればよいものになるということです。これからも頑張っていきたいです。

(1組 T.R)

私が思ったことは、全員で協力し、一つの目的を達成することは、とても気持ちがよいということです。ずっと前から練習してきた成果が出ました。練習を始めたばかりの頃は、どこか頼りなかったけれど、続けていくうちに、自分たち一人一人の声が完成していくのを少しずつ実感しました。本番の歌はみんなでつくりあげてきたものができあがったような気がしました。優秀賞をとることはできませんでしたが、悔いのない歌い方ができました。次の合唱コンクールでは、どのクラスにも負けない歌で優秀賞をとりたいです。

(1組 N.Y)

